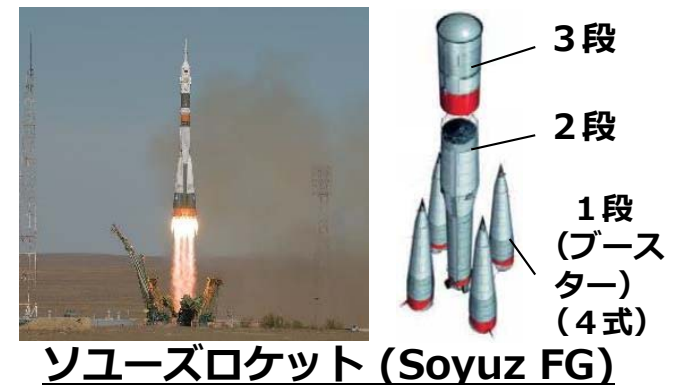


1. 概要

- 10月11日（日本時間）に発生したソユーズロケットの異常により、ソユーズ宇宙船（56S）が緊急帰還した。
- ロスコスモスによる事故調査の結果、組立時に発生したロケット1段（ブースター）の分離用センサーの変形が原因と発表。
- あわせて、ソユーズロケット・宇宙船（57S）の飛行再開スケジュールは、12月3日（現地時間）と発表された。

2. ロスコスモスからの事故原因発表内容

- ソユーズロケット1段（ブースター）の1基の分離シーケンス異常が引き金となり、当該ブースターがロケット2段のタンクに衝突し、タンクが減圧されたことで、機体の安定性を失った。
- ブースターの分離シーケンス異常は、（ブースターを2段から引き離すための推力を発生させる、）当該ブースターのジェットノズルの蓋が開かなかったため、バイコヌール宇宙基地での組み立て作業において分離用接触センサーを変形させたことが原因。



3. ソユーズ宇宙船の飛行再開スケジュール

- 56Sの次となるソユーズ宇宙船（57S）の打上げ日は、12月3日（現地時間）とロスコスモスより発表（11/1発表）。
- 57Sには、オレグ・コノネンコ（露）、ダビッド・サン・ジャック（カナダ）、アン・マクレイン（米）宇宙飛行士が搭乗予定。

4. 今後のISSの宇宙飛行士滞在予定について

12/3予定の57S打上げ後、6名体制となり、ISSの宇宙飛行士滞在が継続される見込み。その後、現在滞在中の3名の宇宙飛行士が12/20に帰還し、当面3名体制となる見込み。

1. 「こうのとり」7号機のISS離脱・再突入結果

- 11月8日(木) 午前1時50分（日本時間）にISSから分離・離脱。
- 11月11日(日) 午前6時24分に、HTV搭載小型回収カプセルを分離後、6時38分（日本時間）に再突入した。

<曝露パレットについて>

当初は、HTV7で輸送した新型バッテリーを船外活動にてISSに取り付け、取り外した旧型バッテリーを載せた曝露パレットをHTV7に再搭載した後、ISS離脱・再突入する予定であった。しかしながら、ソユーズ宇宙船（56S）の異常事象により早期にバッテリー交換作業が実施できない事態となったため、曝露パレットをISS上に残してHTV7はISSから離脱した。尚、新型バッテリー交換作業はソユーズ(57S)クルーが到着後、適切な時期に実施する。

2. HTV搭載小型回収カプセルの状況

【ミッション】 揚力誘導制御技術、軽量熱防護技術、ISSからの実験サンプル回収技術（タンパク質結晶を回収）を獲得すること。

【状況】

- 11月11日（日）6時24分 「こうのとり」7号機から分離
- 11月11日（日）7時5分 着水（南鳥島の南南東約660km）
- 11月11日（日）10時25分頃 回収船へ揚収

【今後の予定】

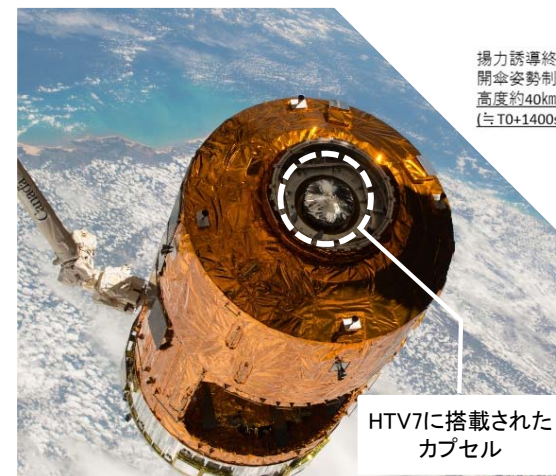
- サンプルを、航空機で、13日に筑波宇宙センターに移送予定。
- カプセル本体は、船で、おおよそ1週間後に筑波宇宙センターへ移送予定。



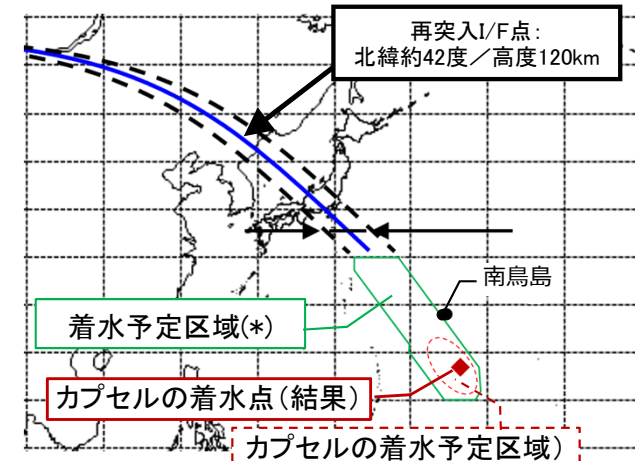
ISS内でクルーによりHTV7に取り付けられるHTV搭載小型回収カプセル（直径84cm）



回収船に揚収されたカプセル



HTV7に搭載されたカプセル



(*)着水予定区域:
HTVの破片および小型回収カプセルを落下させることが可能な区域。

